

#20 権威、反逆、代理権威についての立証、

神の正しい代理 (民数記の結晶の学び) 2019/10/7-13)

I. 神は最高の権威です。彼はすべての権威を持っています:ローマ9:21 それとも陶器師は土くれに対して、同じかたまりから一つを尊い器に、もう一つを卑しい器に、造る権威を持っていないのですか？

A. 神の権威は、神ご自身を代表します。神の力は、神の働きを代表するだけです。

B. 神の権威は、実は神ご自身です。権威は、神ご自身の存在から出て来ます。啓22:1 また御使いは、水晶のように輝く命の水の川を私に見せた。それは神と小羊の御座から、大通りの中央を流れていた。

C. すべての権威は、霊的なものであれ、地位上のものであれ、行政上のものであれ、神から出て来ます。

D. 私たちは神の権威に触れるとき、神ご自身に触れま
す:**1.** 神の権威に出会うことは、神に出会うことと同じです。**2.** 神の権威に対して罪を得ることは、神ご自身に対して罪を得ることと同じです。

E. 私たちと神との関係において、権威に触れること以上に重要なことはありません。

F. 権威を認識することは、内側の啓示であって、外側の教えではありません。 **目**

G. 神だけが、人に対する直接的な権威です。他のすべての権威は、間接的な権威、すなわち、神によって立てられた代理権威です:

1. 私たちは神の権威に出会う時はじめて、神が立てた代理権威に服従することができます。I ペテロ5:5 同じように、若者たちよ、年長者たちに服従しなさい。またあなたがたはみな、互いに謙そんの帯を締めなさい。なぜなら、神は高ぶる者に敵対し、へりくだる者に恵みを与えられるからです。

2. 神は、私たちが神に服従することを求めているだけでなく、私たちがすべての代理権威に服従することを求めています。ヘブル13:17 あなたがたを導く人たちに従い、彼らに服しなさい。なぜなら、彼らは弁明する者として、あなたがたの魂を見守っているからです。それは、彼らがこれをうめきをもって行なうのではなく、喜びをもって行なうためです。そうでないと、これはあなたがたにとって益にはならないでしょう。

3. 神の間接的な権威に服従しない者たちは、神の直接的な権威に服従することができません。

4. 神は、私たちが間接的な権威に、すなわち代理権威に服従することを求めます。それは、私たちが霊的な供給を受けるためです。

H. 私たちすべては、権威に出会い、神によって制限され、彼の代理権威の導きを受けなければなりません。 **火**

II. 宇宙には二つの大きな原則があります。それは、神の権威とサタンの反逆です。神とサタンとの間の唯一の争いは、権威と反逆に関係があります:

A. 反逆は、神の権威を否定することであり、また神の支配を拒絶することです:**1.** サタンは、もともとは神によって創造された天使長でした。しかし、彼の高ぶりのゆえに、彼は自分自身を高く上げ、神の主権を侵し、神に反逆し、神の内敵となり、自分自身の王国を設立しました。

2. 人は罪を犯したとき、神に反逆して、神の権威を否定し、神の支配を拒絶しました。バベルで、人は集団で神に反逆し、地上から神の権威を廃棄しました。

B. サタンは神の権威に反逆し、そして人は神に反逆することによって神の権威を侵しましたが、神はこの反逆を継続させません。神は地上にご自身の王国を設立します。

C. 宇宙における争いの中心は、だれが権威を持っているかということと関係があります:啓4:2 見よ、御座が天に据

えられていて、その御座に座している方がおられた。

1. 私たちはサタンと戦って、権威が神と共にあることを肯定しなければなりません。**2.** 私たちは、神の権威に服従し、神の権威を維持するよう、決意する必要があります。マタイ11:25 その時、イエスは答えて言われた、「父よ、天と地の主よ、あなたをほめたたえます…。」

D. 反逆の罪は、他のどんな罪よりも重大です。

サムエル上15:23 反逆は占いの罪に等しく、不従順は偶像礼拝とテラピムに等しいからである。 **水**

III. 民数記12章と16章は、神の代理権威に反逆することについて語っています:

A. ミリアムとアロンはモーセを非難したとき、神の代理権威を非難していました:**1.** 神はモーセを立てて、地上における神の代理権威、神の代表権威とならせていました。モーセが代行した権威は、神の権威でした。

2. 神の統治上の行政によれば、ミリアムとアロンはモーセに服従すべきでした。しかし、彼らは反逆しました。

3. アロンもミリアムも権威を認識していませんでした。反対に、彼らは反逆の心を抱きました。

4. 反逆の言葉は上へと昇っていき、神によって聞かれました:**a.** ミリアムとアロンがモーセに対して罪を得たとき、彼らはモーセの中の神に対して罪を得ました。ですから、神は怒りました。**b.** いったん人が代理権威に触れると、その人はその代理権威の中の神に触れます。

c. 代理権威に対して罪を得ることは、神に対して罪を得ることです。**5.** ミリアムがらい病になったことは、神の統治上の対処でした。

B. 16章に記録されている反逆は、団体的な反逆でした:**1.** この章の反逆は、神の民の間の広範囲にわたる、普遍的な反逆でした。

2. 民数記16:3、9、10が見せている事は、この反逆の根が野心であり、権力とさらに高い地位を求める争いであったということです:**a.** 野心は、神のご計画をひそかに破壊し、神の民を駄目にします。**b.** 何世紀にもわたって、クリスチャンの間の多くの問題は、野心によって引き起こされてきました。マタイ20:25-27 異邦人の支配者たちは人々の上に君臨し、偉大な者たちは人々の上に権威を振るっている。しかし、あなたがたの間では、そうであってははいけません。だれでも、あなたがたの間で偉大でありたい者は、あなたがたのしもべとなり、あなたがたの間で第一になりたい者は、あなたがたの奴隷となりなさい。

3. モーセはへりだつてひれ伏しましたが、神が与えてくださった神の代理権威としての地位を放棄しませんでした:民16:5 明日の朝、エホバはだれがご自分のものか、だれが聖なるものかを知らせ…彼が選ぶ者をご自身に近づけられる。

a. モーセは反撃しませんでした。むしろ、彼は、反逆者たちと、反逆を受けた人たちとを、神にもたしました。**b.** モーセは神の代理権威、あるいは委託された権威として、この案件を最高権威としての神にもたらし、神に語っていただき、暴露していただき、裁いていただきました。

c. 権力闘争において、真実な状態を裁き暴露することができる唯一の方は、神ご自身です。**4.** 民がモーセとアロンに向かってつぶやいたことは、彼らの反逆的な性質が征服されていなかったことを証明しています。 **木**

IV. 民数記16章は、人が神の代理権威に反逆したことと、どのようにして人が神の代理権威に反対したかについて語っています。17章は、神が彼の立てた権威を立証したことについて語っています:

A. 神は、代理権威が神の立てたことにしたがったものであることを、すべての人に対して立証しました。

B. コラと彼の仲間の反逆は祭司職と関係があったので、アロンの杖が芽を出したことは立証であって、アロンが神によって受け入れられた者であり、神が与えた祭司職の務めにおいて権威を持っていることを示していました。

C. 芽を出したアロンの杖が予表するのは、復活したキリスト、すなわち、芽を出し、開花し、実を結ぶキリストであって、他の人たちに命を分け与えます：**民17:8** その翌日、モーセは証しの天幕に入って行った。すると見よ、レビの家のアロンの杖つえが芽を出し、つぼみを付け、花を咲かせ、アーモンドの実を結んでいた。

1. キリストは、宇宙で最も大いなる芽を出した杖であり、他の人たちに命を分け与えます。彼は常に命を流し出して、他の人たちを生かします。

2. 今日、キリストは依然として芽を出しており、私たちは彼が芽を出したことの實、アーモンドです。

D. 予表において、杖は予表権威を表徴します：

1. 民数記17章において、杖は十二部族の族長たちを表しました。アロンの杖は、レビの部族を表しました。

2. 神の意図は、死んだ杖が芽を出すことによって、民のつぶやきを止めることでした。

3. 杖が芽を出したことを通して、神はイスラエル人に対して語り、またアロンに対しても語りました。

E. 芽を出した杖が表徴するのは、私たちがキリストの復活を経験して、神の与えてくださった務めにおいて私たちが権威を持つということです：

1. 芽を出し、開花し、実を結ぶ杖が表徴するのは、キリストの復活の命とその権威です。**ヨハネ11:25** イエスは彼女に言われた、「私は復活であり、命である。私の中へと信じる者は、たとえ死んでも生きる。

2. 復活が、権威の根拠です：**a.** 芽を出した杖は、権威が復活を根拠としていることを示しています。**b.** 神が権威を立てることの根拠は、復活です。**c.** 神が彼の立てた権威を立証することの根拠は、復活です。 **金**

V. 神によって立てられて代理権威となった人は、神の正しい代理とならなければなりません：

Ⅱコリント5:20 ですから、私たちはキリストのために大使であり、いわば神が私たちを通して、あなたがたに懇請しておられるのです。私たちはキリストに代わって、あなたがたに懇願します。神に和解させられなさい。

A. 出エジプト記において、また民数記12章と16章において、モーセは正しく神を代行しました。

B. 私たちは、モーセが神を代行することで犯した一回の失敗から、厳粛な学課を学ぶ必要があります：

1. モーセは岩を二度打ち、民を逆らう者たちと呼んだことにおいて、イスラエルの民の前で神を聖としませませんでした：

a. 神を聖とすることは、彼を聖いものとする、すなわち、すべての虚偽の神々から分離することです。神を聖としなないことは、彼を俗なものとする、すなわち、

b. モーセは、民に対して怒り、間違っただけで岩を二度打ったことにおいて、神を聖としませませんでした。**c.** 神が怒っていないのに、モーセは怒って、神の聖なる性質において神を正しく代行しませんでした。彼は岩を二度打ったことにおいて、神のエコノミーにおける神の言葉を守りませんでした。

d. モーセは、神の聖なる性質と彼の神聖なエコノミーの両方に違犯しました。彼は、民を逆らう者であると罪定めしました。しかし、彼が、神の言葉に逆らった者でした。

2. 私たちが神の民に関して言い行なうすべての事において、私たちの態度は、神の聖なる性質にしたがっていなければなりませんし、私たちの行動は、神の神聖なエコノミーにしたがっていなければなりません。

C. 使徒パウロは、キリストの大使であって、神を代行しました：**1.** 新契約の奉仕者は、権威を授けられて天の権威を得た人であり、最高の権威を代行します。

2. パウロが自分の使徒の権威を行使したのは、信者たちを支配するためではなく、彼らを建造するためでした。

3. パウロは、教えることによって、霊的戦いに従事することによって、神の尺度の度量の範囲内で行動することによって、キリストのために信者たちをねたむことによって、彼の使徒職に備わっている権威を行使しました。

Ⅱコリント10:13 しかし、私たちは自分の度量を越えて誇ろうとはしません。むしろ測りなわの神が、私たちに割り当ててくださった尺度の度量にしたがって、遠くあなたがたにまで到達することを誇ります。

D. 神を正しく代行する人は、権威に服従しなければならず、自分自身には権威がないことを認識しなければならず、復活の中にあって、キリストの復活の命の中で生きている人とならなければなりません。 **金**

Crucial Point(1): 神と神が立てた代理権威に服することを学び、サタンと反対の証しを立てる

OL1: 私たちは神の権威に触れるとき、神ご自身に触れません。権威を認識することは、内側の啓示であって、外側の教えではありません。

OL2: 神だけが、人に対する直接的な権威です。他のすべての権威は、間接的な権威、すなわち、神によって立てられた代理権威です。私たちは神の権威に出会う時はじめて、神が立てた代理権威に服従することができます。

OL3: 神は、私たちが神に服従することを求めているだけでなく、私たちがすべての代理権威に服従することを求めています。

OL4: 神は、私たちが間接的な権威に、すなわち代理権威に服従することを求めます。それは、私たちが霊的な供給を受けるためです。

宇宙には二つの原則があります。すなわち、神の権威とサタンの反逆です。…反逆の人は宣べ伝えることはできませんが、サタンはそれを笑うでしょう。なぜならその宣べ伝えの中には、サタンの原則があるからです。奉仕は常に権威に付随します。…神に奉仕する私たちは、この基本的な理解をいつか獲得しなければなりません。それは電気に触れるようなものです。いったんそれに触れると、人は決してそれについて今後は決して不注意ではなくなります。同じように、いったん人が神の権威に触れそれによって打られると、彼の目は明らかにされます。

だれも自分は主の権威に服従しないとあえて言うことはしません。しかし、組み合わせの中にも肢体の権威があり、私たちはそれに服従しなければなりません。私たちはすべての肢体が共に結合されていることを認識しなければなりません。…ある時は、主は一肢体を直接用いられます。ある時は、主は他の肢体に供給するために一肢体を用います。頭が目に見るよう指図するとき、体全体は、目が見ることを体自身の見ることとして取りまします。なぜなら、目が見るとき、体全体が見るからです。この委託された機能(すなわち代理権威)は、かしの権威でもあります。もしだれか他の肢体が自分たちも見ることができるとするならば、彼らは反逆の中にあります。私たちは、愚かになって自分は全能であると思いがあってはいけません。

青少年・大学生編

権威は神ご自身であり、権威は秩序、調和、供給のためです。神は召会を通して神の権威を回復されます

ので、召会は率先して神の権威に服し、サタンと反対の証しを立てる必要があります。

体の中には頭の権威と、頭から来る指示による各肢体の代理権威があります。体の全ての肢体が見るのではなく、目が見ます。体の全ての肢体が聞くのではなく、耳が聞きます。体の全ての肢体が語るのではなく、口が語ります。目、耳、口などの肢体は頭の指示の下で機能し、それぞれの機能が委託されています。彼らは代理権威です。全ての肢体は頭に服し、代理権威にも服することを学ばなければなりません。

学生の皆さんは、両親、学校の先生などの代理権威に服することを学んでください。あなたの内側の反逆の性質は、実はあなた自身ではなく、あなたの肉の中に住んでいるサタンの性質、罪です。反逆する人はサタンに追従する人ですので、主の御名を呼び、主のあわれみを求めて必死になって、「おお主イエスよ、サタンは天使長でしたが、高ぶりのゆえに悪魔サタンになってしまいました。主よ、私をあわれんで悪魔の追従者にならないようにしてください。私は兄弟姉妹と共に悪魔と反対の証しを立て、神がすべての権威を持っておられることを承認し、宣言します。さらに、私は神が立てた学校、家族、召会における代理権威にも服します」と祈ってください。

Crucial Point(2):サタンはもともと天使長であったが、高ぶりのゆえに神の権威に反逆して悪魔サタンになった。

自己を否み、自分の内側の反逆を対処し、神と代理権威に服して、神によって祝福される

OL1:宇宙には二つの大きな原則があります。それは、神の権威とサタンの反逆です。神とサタンとの間の唯一の争いは、権威と反逆に関係があります。

OL2:サタンは、もともとは神によって創造された天使長でした。しかし、彼の高ぶりのゆえに、彼は自分自身を高く上げ、神の主権を侵し、神に反逆し、神の内敵となり、自分自身の王国を設立しました。

OL3:民数記12章と16章は、神の代理権威に反逆することについて語っています。

神は召会において一つの目標しか持っておられません。それは宇宙の中に神の権威を現すことです。私たちは召会における組み合わせから、神の権威を見ることが出来ます。神はご自分の権威を維持するために、ご自分の力を極限まで働かせます。彼の権威は他の何ものよりも強力です。非常に自己に信頼し、実際にはとても盲目である私たちは、少なくとも一度は、神の権威に直面しなければなりません。私たちは砕かれてはじめて、服従することができるのです。…人は神の権威に出会って始めて、神の立てている代理権威に服従することができます。

民数記16章に二つの反逆があります。1節から40節にかけては、リーダーたちの反逆があります。ところが41節から50節にかけては、全会衆の反逆があります。反逆の霊は伝染します。…[全会衆]は自分の目で火が神から出てきて二百五十人の香をたく者たちを滅ぼすのを見ました。それでも全会衆は依然として反逆しました。モーセが彼らを殺しているとさえ訴えました。モーセとアロンは地を開くことはできませんでした。それを開いたのは神でした。

モーセは火で民を焼き尽くすことはできませんでした。人々を裁いたのは、エホバ神から出た火でした。ある人たちは、自分の目を通して人を見るだけです。…そのような人々は極めて大胆です。彼らは裁きを見る時でさえ恐れません。彼らには権威の認識がないからです。これは極めて危険なことです。全会衆がモーセとアロンとを攻撃した時、神の栄光が現れ、権威は神からであ

ることを証明しました。神は裁くために出て来られました。疫病が起きました。権威、反逆、代理権威についての立証、神の正しい代理そして一万四千七百人が死にました。モーセは彼の霊的感覚において鋭敏でした。彼は直ちにアロンに火皿を取り、火を入れその上に香を盛って、会衆のためになだめをするよう命じました。アロンは死んだ者たちと生きている者たちとの間に立ちました。そうすると、疫病はやみました。

神は荒野においてその民の十のつぶやきを耐えることができました。しかし神の権威が侵されるのを耐えることはできません。神は多くの罪を耐え忍び、それらを赦すことさえできます。しかしいったん反逆が起こると、神はそれを大目に見ることができません。なぜなら反逆は死の原則によるからです。それはサタンの原則によります。こういうわけで、反逆の罪は他のどんな罪よりも重大です。

青年在職・大学院生編

青年在職者、大学院の研究者であるあなたは、反逆が神の権威を否定することであり、神は決して反逆を容認しないことを知ってください。神はイスラエルの民の多くの罪を大目に見ることができましたが、反逆については、いっさい容認できませんでした。神は直ぐに介入して反逆を対処されました。なぜなら反逆はサタンの原則であり、神の権威を覆すので、どんな罪よりも重大であるからです。

あなたは上司に反逆してはいけません。上司の能力が少し足りなかったとしても、それはあなたが反逆していいという理由にはならないのです。会社においては利益を得るために前向きに前進する必要がありますが、上司が消極的な人で部署をまとめて前向きに前進させることができなくても、上司に服して、自分に与えられた度量に応じて前向きに前進してください。このような一見矛盾した環境があっても、あなたが自分の内側の反逆を対処することができれば、状況は単純化されます。

あなたはいつも反逆から来る自分の考えを十字架に付け、会社の方針や上司の方針に従って業務を遂行してください。そうすればあなたは神と代理権威から供給を受け、あなたの業務は祝福されるでしょう。

祈り:「おお主イエスよ、反逆はどんな罪よりも重大であることを認識させてください。私の内側の反逆を対処してください。会社や上司の方針を批判して反逆するのではなく、反逆から来る自分の考えを十字架に付けます。神と代理権威に服することで、私の業務を祝福してください。アーメン！」

Crucial Point(3):アロンの代理権威は復活を根拠としている。キリストの復活を経験して、代理権威を持つ。代理権威を持つ人は神に服し、神を正しく代行しなければならない

OL1:芽を出したアロンの杖が予表するのは、復活したキリスト、すなわち、芽を出し、開花し、実を結ぶキリストであって、他の人たちに命を分け与えます。

OL2:キリストは、宇宙で最も大いなる芽を出した杖であり、他の人たちに命を分け与えます。彼は常に命を流し出して、他の人たちを生かします。

OL3:芽を出した杖が表徴するのは、私たちがキリストの復活を経験して、神の与えてくださった務めにおいて私たちが権威を持つということです。

OL4:神を正しく代行する人は、権威に服従しなければならず、自分自身には権威がないことを認識しなければならず、復活の中にあって、キリストの復活の命の中で生きている人とならなければなりません。

神は十二人の族長たちにイスラエルの十二の部族にしたがって、十二本の杖を取らせ、それらを集会の天幕の契約の箱の前に置かせました。それから神は言われました、「私が選ぶ人の杖は芽を出す」(民 17:5)。杖は一本の木です。それは木の枝であり、葉と根が取られています。以前それは生きていましたが、今は死んでいます。以前、それは木から樹液を受けて、花を咲かせ、実を結ぶことができましたが、今は死んでいます。十二本の杖には、すべて葉がなく、根もなく、枯れて、死んでいました。芽を出す杖があれば、それは神によって選ばれたものです。ここで私たちは、復活こそ神の選びの根拠であることを見ます。それはまた権威の根拠でもあります。

私たちは主に信頼する時はいつも、権威を見ます。私たちは天然の命を表現する時はいつも、他のすべての人と同じようになり、私たちの中には何の権威もありません。復活から出て来るものだけが、権威です。権威は復活に基づいているのであって、私たち自身に基づいているのではありません。普通の杖は神の御前に置くことはできません。復活の杖だけが神の御前に置くことができます。それだけでなく、復活は、芽を出した杖の中に見いだされます。これは一般的な復活ではなく、全き復活です。これは、復活の命のかすかな表現ではなく、芽を出し、花を咲かせ、実を結ぶ命です。これは円熟した復活の命です。復活の命の中で円熟した者だけが、神の代理権威として振る舞うことができます。復活の命が私たちを通して表現されればされるほど、さらに私たちは権威を持つようになります。

パウロはとても霊的であったので、私たちとは全く違っていたと思うべきではありません。彼でさえ、主の制限を受け入れることを学ばなければなりません。例えば、パウロはローマに行くことを願ったのですが、罫目の中でそこへ行くとは思いませんでした。さらに、彼はローマの信者たちに、彼らに送られてスペインに行くことを期待したと告げています。パウロは決してスペインに行きませんでしたし、罫目の中でローマに到着しました。それらの罫目は主の測りなわ、主の制限でした。…神は彼をそこへ囚人として導かれました。…神には主権があり、パウロに起こったことは何であれ、神の主権の下にありました。これは、パウロの罫目と投獄が、神の主権の制限であったことを意味します。パウロは進んで神の測りなわに服しました。彼はこの制限を踏み越えたり、それに反逆したりしませんでした。召会の奉仕において、神が私たちに測っておられるので、私たちは身を伸ばすべきではないことを、認識する必要があります。私たちは自分の制限、自分の範囲を知って、他の人の領域に超えて行かないようにする必要があります。パウロのように、私たちは自分の尺度にしたがって、すなわち、神が私たちに測り与えられた程度にしたがって行動し、活動すべきです。

奉仕者編

代理権威の根拠は復活です。アロンに代理権威があったのは、アロンの天然の誕生や能力によるのではなく、復活によります。

各種の奉仕において、リーダーやサブ・リーダーがいます。彼らが代理権威として立てられている根拠は、復活です。あなたはリーダーの指導の下で、キリストのからだの建造のために積極的に機能してください。決して、「このリーダーよりも自分の方が優れているので、自分がリーダーになるべきだ」と言って反逆してはいけません。

またあなたがリーダーとしてアレンジされている場合、あなたは決して高ぶってはいけません。あなたは高ぶるとサタンの追従者になってしまいます。復活の原則は、「もはや

私ではなく、キリストである」ということですので、あなたは多く祈るべきです。奉仕のメンバーのために祈り、奉仕のゴールに到達するために祈り、奉仕に天然の人や野心が入ってこないように祈るべきです。復活の中で神に信頼する人は、代理の権威を帯び、奉仕のグループに命を分与します。

あなたが奉仕においてリーダーシップを発揮する時、あなたは正しく神を代行しなければなりません。神が大目に見ることができることは、大目に見、神が大目に見ることができない時には、厳格に当たるべきです。聖霊の流れに主権を与え、聖霊がもっと流れるように働き、アレンジすべきです。あなたは代理権威ですので、権威である神に服し、正しく代行しなければなりません。

祈り:「おお主イエスよ、各種奉仕の中で、私を高ぶりと反逆から救い出してください。もはや私ではなくキリストが生きてください。復活のキリストを経験して、代理権威を持って、建造のために奉仕することができますように。また奉仕の中で正しく神を代行することを学ばせてください。アーメン！」

人生の奥義(2) 私たちの取るべき態度:『見る』

A. ヨハネ1:29後半:見よ、世の罪を取り除く神の小羊!

B. マタイ3:16後半:すると見よ、天が彼に開かれた。そして彼は、神の霊がはどのように下って、彼の上に来るのをご覧になった—小羊は人から罪を取り除き、はとは命としての神を人にもたらしめます。小羊は贖いのため、墮落した人を神に贖い戻すためです。はとは命を与えるため、油を塗るため、すなわち神であるものを人に油塗り、神を人の中にもたらし、人を神の中にもたらし、信者を神の中で結合させるためです。小羊もはとも、人が神にあずかるために必要です(ヨハネ1:29のフットノート1)。

C. ヨハネ1:51後半:天が開け、神の御使いたちが人の子の上を上り下りするのを、あなたがたは見るであろう。—人性を伴う人の子としてのキリストは、神の家、すなわちベテルのために、地に立てられたはしごであって、天へ導き、天を地に対して開き続け、地を天に結合します(フットノート2)。

D. ヨハネ1:46後半:来て見なさい。

E. ヨハネ1:34:私は見たので、この方が神の御子であると証しをしたのである。

F. マタイ28:7後半:「彼は死人の中からすでに復活させられた」…見よ、私はあなたがたに告げた。

G. マタイ28:20後半:見よ、私はこの時代の満了まで、日々あなたがたと共にいる。

H. 啓示録1:7前半:見よ、彼は雲と共に来られる。すべての目は、ことに彼を刺し通した者たちは、彼を見る。

人の悲惨な状況:『争い』

A. 争い…は…邪悪な情緒と関係があります(ガラテヤ5:20フットノート2)。

B. I テモテ6:4:論議と言い争い…そこから、ねたみ、争い、そしり、邪悪なさい疑心が生じ。

C. II テモテ2:14:争いは…何の益にもならず、聞く者を荒廃に至らせるだけです。

D. ヤコブ4:1後半:戦いと争いは、どこから来るのですか? それらはほかでもなく、あなたがたの肢体の中で戦う欲望からではありませんか?

E. エペソ2:14:彼ご自身は、私たちの平和であって、両者をついにし、そして敵意である隔ての中垣を取り壊し、…16また十字架を通して、両者をついからだの中で神に和解させるためでした。それによって敵意を殺してしまっただけです。